

## 日本発トスカーナ便り：Sbandieratori

ある日の午後 Lucca の街を歩いていると、賑やかな音楽が聞こえてきました。



音をたよりにたどり着いたのが Piazza Napoleone (ピアツツァ・ナポレオーネ：ナポレオン広場) Lucca で一番大きな広場です。

Lucca の街はナポレオンともゆかりの街なのですが、その話は、またいつか機会があれば。☺

近づいてみると、広場の一角にたくさん人が集まっています。



人の輪の中には、伝統的な衣装に身を包んだ楽団（ブラスバンドではなくて、ドラムとトランペットがメインの鼓笛隊）と、音楽に合わせて器用に旗を操る旗手。イタリア語で Sbandieratori (ズバンディエラトリー) というイタリアの伝統的な旗振り隊（もしくはフラッグショー。どうも日本語だとあのカッコよさが伝わりませんね…。）伝統は中世まで遡り、当時の戦いで使われていた「大旗」をパフォーマンス化したものが今の Sbandieratori で、「[中世の戦いの美学](#)」の名残なのだそうですよ。

イタリア全土で見られる伝統芸というわけではなく、トスカーナ・ラツィオ・ウンブリア州といったイタリア中央の地域で盛んだそうです。大会もあるし、お祭りの時はもちろん花形です。

ちょっとイタリア語のお勉強をすると Bandiera (バンディエラ) が「旗」。Sbandiere (ズバンディエーレ) が「旗を振る」という意味の動詞。で Sbandiatore (ズバンディエラトローレ) が「旗手」の単数形。で、旗手一人じゃなくて基本的にチームなので、Sbandieratori (ズバンディエラトリー) と「旗手」の複数形になるようです。この日見たのは地元 Lucca のチームでした。(お祭りとか祝日ではない普通の日だったので、公開練習だったのかな?)

途中で我に返るまで、写真を撮るのも忘れて見るのに熱中してしまいました。(ビックリのあまり、口が開いていたかもしれません。◎)

音楽に合わせて、かなり大きくて重そうな旗を振ったり投げたり飛ばしたりと自由自在に操るのです。どんな風に普段練習するんでしょうね？



しかも旗は1本じゃなくて3本とか4本とか！(中には6-7本扱うすごい人もいます。)



使うのは手だけではなく、もちろん足だって使います。まあ器用なこと！技が決まると拍手喝采。

飛び交うカラフルな旗が青い空に映えて綺麗でした。

偶然に珍しいショーを見ることができて、嬉しかった一日でした。

中世の戦いに思いを馳せながら…◎。トスカーナの伝統芸 Sbandieratori。是非また見てみたいです。